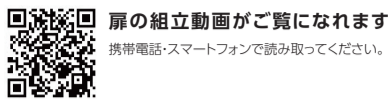


# AR/NC扉 突っ張り棚用 オーダー

type 23-32-41-47-56-65

Shelfit 組立説明書

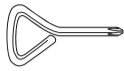


## 必要な工具

プラスドライバー



ラックにドライバーが入らない場合は、付属の三角ドライバーを使用してください。  
※本体幅15~30cmまで



以下の注意を守り、手順どおりに組み立ててください。組み立て後も、本書を保管してください。

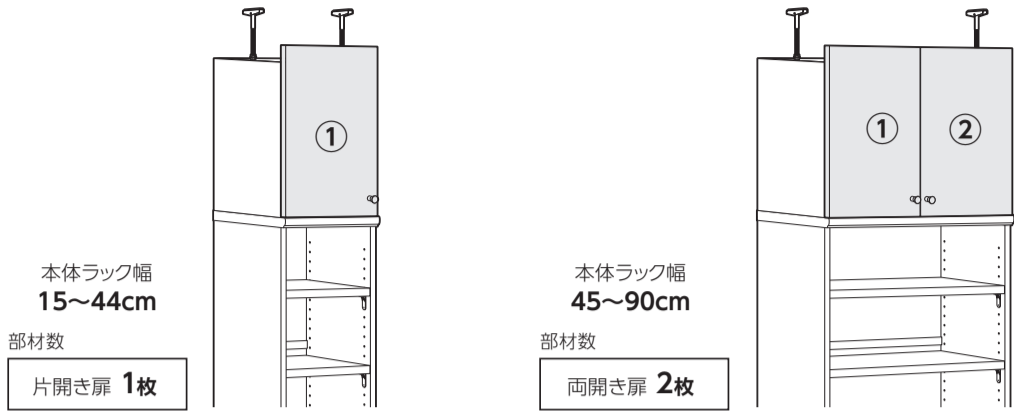
## 注意

- 本書の指示通り、必ず接着剤を使用してください。使用しないと、家具の強度は低下します。
- 天災等の不可抗力、お客様の組み立て作業上の不備、修理・改造を原因とする故障や破損は保証対象外です。
- 電動工具を使用するときは、低いトルク・回転数でゆっくりと締め、ビスの締めすぎに注意してください。締めすぎると、ビスが破損することがあります。
- インパクトドライバーは使用しないでください。使用すると、ビスや部材が破損することがあります。
- 床や部材が傷つかないように、布などを敷いた上で作業をしてください。

作業の前に

## 構造を確認しましょう

説明書のイラストは突っ張り棚47タイプですが、他のサイズも同様に組立てください。



## 付属部品 ※扉1枚あたり



## 注意

ツマミをオプションでハンドルに変更した方は、オプションハンドルの説明書を参考にしてください。

## 1 扉を組み立てる

※扉1枚あたり

ヒンジ:扉用蝶番 ×2

蝶番用ビス ×4

ツマミ ×1

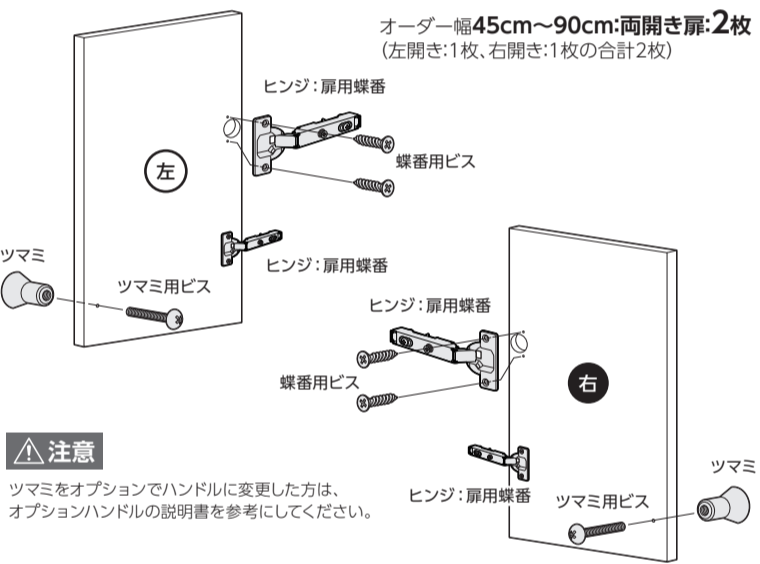
※標準仕様

ツマミ用ビス ×1

※標準仕様

## 注意

ツマミをオプションでハンドルに変更した方は、オプションハンドルの説明書を参考にしてください。



## 4 本体用ベースを取り付ける

※扉1枚あたり

ヒンジ:本体用ベース ×2

ベース用ビス ×4

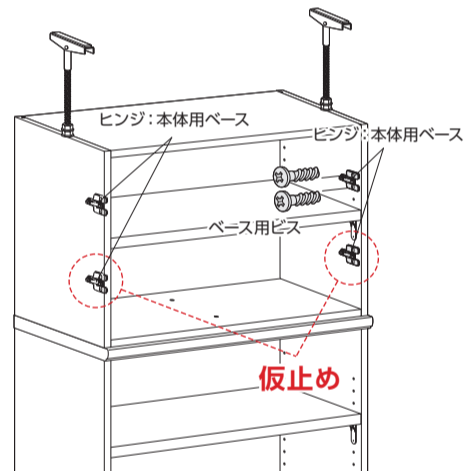
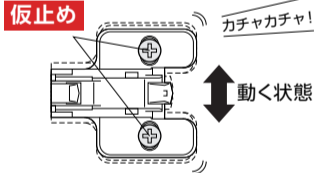
## 注意

ベースの向きを間違えないように注意してください。

## 注意

扉を取り付けた際に、下にくるベースは仮止めしておいてください。完全に締め付けた状態で扉を取り付けますと、蝶番がベースにきちんと、取り付けられない場合がございます。

## 仮止め

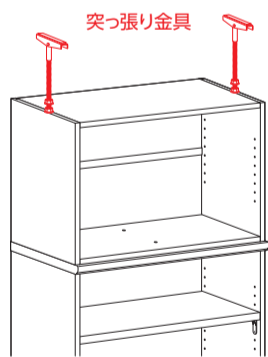


## 2 突っ張り金具を突っ張らせる

## 注意

天井とラックを突っ張り金具でしっかりと突っ張らせてる。

ラックを固定せずに扉を取り付けると、ラックが倒れてくる危険性がございます。



## 3 移動固定棚・移動棚の位置を確認する

※突っ張り41、47、56、65タイプのみ イラスト棚板移動3cmピッチ

## 注意

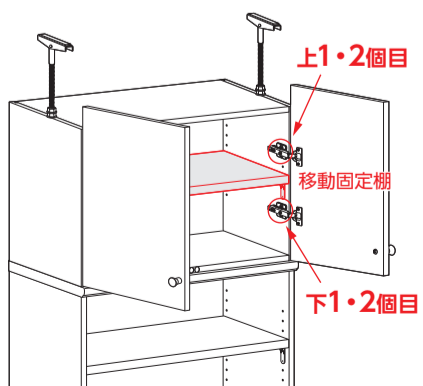
上下の1・2個目の穴を移動固定棚の取り付けに使用しないでください。

扉を取り付ける際に使用する穴は、移動固定棚用の穴と同様なので、上下の1・2個目の穴が移動固定棚・フリーストップ棚受によってかかれないようにご注意ください。

## 注意

扉を取り付ける前に、移動固定棚を取り付けてください。

扉を取り付け後に、移動固定棚をラック内にセットしようとする、扉に接触して入らなくなります。



## 5 扉を取り付ける

扉の取り付け、調整方法は別紙の「スライド蝶番取付け説明書」をご覧ください。

## 6 クッションを取り付ける

※扉1枚あたり

クッション ×1

片開き用

クッションは台紙からはがして、扉を閉めた際に、扉がクッションにあたるように取り付けてください。

片開き扉 → 突っ張り棚の側板  
両開き扉 → 突っ張り棚の地板

